

糸澤 幸子 (ITOZAWA, Sachiko)

沖縄キリスト教学院大学 人文学部観光文化学科准教授 実務家教員

【プロフィール】

取得学位、 大学・機関、取得年	<p>博士号(観光学) Ph. D. in Tourism 和歌山大学大学院 観光学研究科 博士後期課程修了、2022年</p> <p>修士号(観光学) Master's degree in Tourism 琉球大学大学院 観光科学研究科 修士課程終了、2017年</p>	
専門分野	観光学、クルーズ観光学、観光考古学	
研究分野	クルーズツーリズム、フードツーリズム、エコツーリズム、ツアーコンダクター学	
研究職歴等	<p>沖縄キリスト教学院大学 人文学部 観光文化学科 准教授 2024-</p> <p>琉球大学 非常勤講師 2017-</p>	
担当科目	<p>クルーズ産業論、ツアーコンダクター論、エコツーリズム、スポーツツーリズム、世界遺産論 フードツーリズム、コンテンツツーリズム、巡礼ツーリズム、ホスピタリティと異文化理解</p> <p>観光学概論、キャリアガイダンス、フレッシュマンセミナーII、国際文化交流海外研修</p>	

【研究活動業績】

研究業績 (主要論文・著書)	<p>「ディズニークルーズ日本進出が齎す我が国のカポタージュの在り方」 沖縄キリスト教学院大学 『論集』 Vol.22, 2025年</p> <p>「コロナ社会と共存するクルーズツーリズムの在り方ー発展・安全・貢献の視点からー」 和歌山大学 『和歌山大学大学院博士論文』 2022年</p> <p>「コロナ禍におけるクルーズ船社のマネジメントシステム構築と安全性に関する比較研究」 日本観光研究学会 『観光研究』 Vol.33 No.2, pp.5-19, 2022年</p> <p>「コロナ禍におけるクルーズ船多角的活用の可能性ーシンガポール港の宿泊療養活用の事例からー」 日本観光学会 『日本観光学会誌』 Vol.62, pp.26-33, 2021年</p> <p>「クルーズ船多角的活用におけるホテルシップの課題ー東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会ホテルシップ活用に向けての考察ー」 和歌山大学観光学会 『観光学』 Vol.21, pp.1-13, 2019年</p> <p>「クルーズ二極化時代における寄港地選定の要件」 日本観光学会 『日本観光学会誌』 Vol.59, pp.28-40, 2018年</p> <p>「クルーズ二極化時代における寄港地選定の要件ー沖縄が持続可能な寄港地となるためにー」 琉球大学 『琉球大学大学院修士論文』 2017年</p> <p>「観光考古学によるクルーズ起源の解明ークルーズツーリズム発祥の原点ー」 日本国際観光学会 『日本国際観光学会論文集』 Vol.24, pp.121-128, 2017年</p> <p>「18世紀ナポリ食文化と沖縄ー沖縄初の AVPN 認定への軌跡ー」</p>
-------------------	---



(その他)	<p>沖縄大学 『沖縄大学学位論文集』 2015 年 『週刊トラベルジャーナル第 57 巻 第 13 号』 研究論文 ツーリズムビジネス専門誌 【後編】「クルーズ船多角的活用におけるホテルシップの課題－東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会ホテルシップ活用に向けての考察－」 株式会社トラベルジャーナル出版 pp.26-32. 2020 年 和歌山大学観光学会 第 9 回大会 ポスター発表 「日本のクルーズ二極化に資する外国船社の役割 II」 和歌山大学 2020 年 『週刊トラベルジャーナル第 57 巻 第 9 号』 研究論文 ツーリズムビジネス専門誌 【前編】「クルーズ船多角的活用におけるホテルシップの課題－東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会ホテルシップ活用に向けての考察－」 株式会社トラベルジャーナル出版 pp.24-29. 2020 年 和歌山大学観光学会 第 8 回大会 ポスター発表 「日本のクルーズ二極化に資する外国船社の役割」 和歌山大学 2019 年 日本国際観光学会 第 20 回全国大会 第三分科会 研究発表 「クルーズ二極化時代における寄港地選定の要件－クルーズ起源の新知見と寄港地沖縄の持続可能性－」 亜細亜大学 2016 年</p>
社会活動等	<p>令和5年度 沖縄型産業中核人材育成事業 インバウンド 講師 2023 公益財団法人 沖縄県文化振興会 アドバイザー 2023- 日本イタリア国交樹立150周年 文化交流アドバイザー 2015-2016 日本イタリア国交樹立150周年記念コンサート in 沖縄市あしびなー 企画運営 2016 東京都審判サッカー協会 海外交流アドバイザー 1998-2016</p>
所属学会	<p>日本観光研究学会 2020- 日本観光学会 2018- 和歌山大学観光学会 2018-2022 日本国際観光学会 2016-2020</p>

一言	<p>『 観光の学びは未来につながるパスポート 』 観光地の、語学・文化・歴史を理解するほど、楽しみが膨らんで豊かな旅に進化します。 観光の学びは、旅行者はもちろん、観光関連の仕事に従事する者、そして、旅を仕事としない他の多くの職業に共通する良識として、あなたの一生の財産となり、未来につながります。</p>
----	--